

日本海洋学会教育問題研究会の 海洋に関する教育と知識普及活動

日本海洋学会教育問題研究会：
初等中等教育および高等教育における海洋の教育、ならびに一般国民を対象とした海洋の教育、海洋に関する知識の普及等を図るための手段を検討し実施することを目的として、2003年4月に発足（2010年4月に研究部会から研究会に改称）。趣旨に賛同する海洋学会会員および非会員の集まり（総勢35名）。

URL: <http://coast14.ees.hokudai.ac.jp/osj/index.html>

市川洋・岸道郎（2010年8月）

主な活動内容

- 一般向け書籍の出版
- ウェブ教材の作成
- 体験学習の実施、支援
研究船（望星丸）、室戸、石川、真鶴
- 「海のサイエンスカフェ」の実施
- 出前授業
- 「我が国における海洋リテラシーの普及を図るための調査研究」に参画（2008年3月～2009年2月）
- 「海洋学会の中学高校教科書に対する考え」作成（2005年）
- シンポジウム「海洋科学の大学院教育は企業の即戦力たりえるか」（2010年10月15日、神戸、Techno-Ocean 2010 関連行事）
- 大学1年生向け教科書「海はめぐる（仮題）」の刊行（2011年3月予定）
- 「メディアとの対話・交流」（2011年1月開始予定）
- 他の海洋・地学関連学会等との連携

日本海洋学会の出版活動

学会が編集などに関わった書籍 日本海洋学会の学会誌

○海と環境：海が変わると地球が変わる
2001年9月発行 講談社 2800円
大学生、大学院生向き



現在Springer から出版

○海を学ぼう...身近な実験と観察
2003年4月発行 東北大学出版会 1500円
高校生および小中学校の先生、父兄向き

○有明海の生態系再生をめざして：
2005年9月発行 恒星社厚生閣 3990円

○海のトリア / 続海のトリア
2005年6月発行 日本教育新聞社 980円
シップ・アンド・オーシャン財団 海洋政策研究所、
日本海洋学会

○海はめぐる（仮題）
2011年3月発行予定 地人書館
大学1年生向け教科書

電子出版：以下のURLからダウンロードできる
<http://uminokenkyu.no.coocan.jp/>



ウェブ教材：海を学ぼう

URL: http://coast14.ees.hokudai.ac.jp/umi_o_manabou/index.html

ウェブ教材：海の教室 http://coast14.ees.hokudai.ac.jp/osj/umi_no_kyousitu/index2.html



海に行ったら海を知ろう

1. 海に行く前に
2. 海を観察しよう
3. 海の中を観察してみよう
4. プラクトンを集めてみよう
5. ヤドカリの実験

海の恵みについて考えてみよう

1. 体を作る「海の幸」
2. 海が気候をコントロール
3. そのほかの海の恵み

実験室で海の実験をしてみよう

1. 魚は何を食べているかな？
2. 浮いたり沈んだり デカルトの潜水夫
3. 海藻はどんな色？
4. 黒い出を染めておこう
5. コリオリの力
6. 津波について勉強しよう

海を調べよう

1. 知りたいことを整理しよう
2. 調べてみよう
3. リンク集

研究船をのぞいてみよう

1. 研究船をのぞいてみよう

資料・動画インテックスなど

1. ヘルプ
2. このサイトについて・著作権
3. 動画インテックス
4. プリントアウト・資料インテックス



共催：東海大学、日本科学協会、日本海洋学会
募集人員：高校生（80名）、学校教諭等・一般（20名）
実施期間：2006年度～2010年度の8月（5または7日間）
内容：東海大学望星丸の船上での観測・実習等による体験学習で海について学ぶ



船上で観測



陸上実験室で分析



グループごとに研究発表

海の自然科学教室(石川、2006年-2008年)

2008年6月28日～29日

指導者(補助者):

岩崎望(高知大)、岩崎詩子、乙部弘隆、町田龍二(東大)、菊池知彦(横国大)、馬場典夫(国連環境計画)、谷口常也、岡田仁奈(東京シネマ新社)、長谷川浩(金沢大)、福島広行(のと海洋ふれあいセンター)、スノーケリング技術指導員5名、アルバイト15名

募集対象: 小学5年生～中学生

募集地区: 金沢市を中心とした石川県内



スノーケリング



スノーケリングで採集したサンプルを見る

海の教室(真鶴、2009年、2010年)

①2009年7月2、3日

共催: 真鶴町教育委員会、横浜国立大学 後援: 日本海洋学会

真鶴小学校 2クラス 40名 が参加して実習施設近くの岩漁港(いわぎょこう)でプランクトンネット採集を行い、自らが採集した試料を施設に持ち帰り顕微鏡観察。横浜国立大学菊池研究室の院生3名が補助。

②2010年7月5、6日

真鶴小学校2クラス40名が参加して、2009年と同様の実習。

教育問題研究会の乙部会員の紙芝居を上演。



2009年の実習風景

海のサイエンスカフェ

海洋研究者と語り合ってみませんか?

私たち人間は、海と切っても切れない関係にあります。このような海で起きている種々の事柄を研究対象とする海洋学の進歩・普及を図ることを目的として、日本海洋学会が1941年に設立されました。その活動の一環として、日本海洋学会教育問題研究部会は、学会員が一般の皆様(高校生から大人まで)と海洋学の最新の研究成果について、双方向で話し合うことを通じて、多くの皆様と海との関係を身近に感じる方法を探し出すために、「海のサイエンスカフェ」を開催することになりました。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

第1回 地球温暖化と海—北極の水が消えるとうなる?—
平成20年3月30日(日) 11時から13時、東京(品川)

第2回 海流をつかむ話し

平成20年9月27日(土) 15時から17時、広島市、

主催 広島市科学技術市民カウンセラー連絡会議、広島市

第3回 地球温暖化と海—「海のコンペアベルト」のなぞ—

平成21年4月5日(日) 10時30分から12時、東京(品川)

第4回 台風～空と海とのあいだには～

平成21年9月26日(土) 14時から15時30分、京都市

共催 井戸端サイエンス工房

第5回 地球温暖化と海—水中の巨大な波、内部波のひみつ—

平成22年3月28日(日) 11時から13時、東京(品川)

第6回 海の巨大な渦—海の中にも高気圧と低気圧がある—

平成22年9月9日(木) 18時から20時、網走市



ルノアール品川東口店(第1回)



カフェ進々堂(第4回、京都市)



ルノアール品川南口店(第5回)

出前授業

東洋英和女学院中等部高等部(東京都)

平成20年7月8日(火) 16時～17時15分 乙部弘隆・町田龍二

三重県立津高等学校(三重県津市新町3-1-1)

平成20年11月13日(木) 16時10分～17時40分 松野健・角皆静男

静岡県立掛川西高等学校(静岡県掛川市城西1-1-6)

平成20年11月20日(木) 16時00分～18時30分 角皆静男・松野健

山形県立鶴岡南高等学校(山形県鶴岡市若葉町26-31)

平成20年11月28日(金) 11時35分～12時45分 角皆静男

慶應義塾高等学校(横浜市港北区日吉4-1-2)

平成20年12月1日(火) 15時15分～17時15分 角皆静男

沖縄県立開邦高等学校(沖縄県南風原町宇新川646番地)

平成20年12月20日(土)4校時(11:30～13:05) 角皆静男

網走東小学校(網走市宇葉等)

平成22年9月9日3校時(10:35～11:20) 乙部弘隆

財団法人新技術振興渡辺記念会

平成19年度科学技術調査研究助成(下期)、交付番号19-168

期間:平成20年3月～平成21年2月

研究報告書

我が国における海洋リテラシーの普及を図るための調査研究

研究代表者 角皆静男

(特定非営利活動法人 海ロマン21 副理事長)

(日本海洋学会教育問題研究部会 部会員)

ウェブ公開中:

概要 <http://www.ur21.net/ur21/pdf/2009gaiyou.cyou.sakennkyuhoukokusho.pdf>

全文 <http://www.ur21.net/ur21/pdf/2009zenpen.cyou.sakennkyuhoukokusho.pdf>
(全178ページ、14 MByte)